

エレクトロニック・フライト・バッグ (EFB) を利用した運航に完全移行 ～ 運航品質の向上と環境に配慮した運航を実現～

- ・ 保有全機へのEFB^{*1}の完全導入は本邦初
- ・ コンピューターによる運航性能の計算精度向上
- ・ 紙マニュアル廃止による機体の重量軽減で、燃費の向上とCO₂排出量を削減

Peach Aviation株式会社(以下:Peach、代表取締役CEO:井上 慎一)は、エレクトロニック・フライト・バッグ(以下:EFB^{*1})の使用に関し、2016年6月から2017年1月までの評価運用を終了し、完全導入のための承認を航空局から取得しました。これにより本日から、運航乗務員が機内で使用する紙マニュアル類を廃止しデジタル化へ移行します。



Peach では、タブレットを利用した EFB を活用し、操縦室内で使用する紙マニュアル類をデジタル化することで、タブレット上で迅速にマニュアルの変更を運航乗務員に周知することができるほか、離発着時の機体性能をコンピューター計算することにより、運航効率の最適化を実現します。

また、紙マニュアルの廃止により、機体重量を約21kg軽減することとなり、年間6万2000ポンド(ドラム缶約180本)の燃費の向上と約90トンのCO₂排出量削減も見込まれます。

Peachは、日本の航空業界のファーストムーバーとして、今後も最先端テクノロジーなどを積極的に導入し、より安全で高品質なオペレーションを目指してまいります。

^{*1} EFBは、運航乗務員向けのマニュアルをデジタル化させたアプリと電子端末の総称です。

[Peach について\(www.flypeach.com\)](http://www.flypeach.com)

Peachは、2012年3月に関西空港を拠点として運航を開始しました。2014年7月には那覇空港を関西空港に次ぐ拠点空港とし、2015年8月には羽田空港に就航しました。現在、18機の機材で、国内線12路線、国際線13路線に就航し1日あたり90便以上を運航するとともに、13,000人以上のお客様にご利用いただいております。また、2017年9月には仙台空港、2018年度には新千歳空港を拠点空港とする予定です。